

教員プロフィール 平成29年7月現在

◎看護学専攻

生野 繁子 教授(研究科長／看護学専攻長)

大学院担当科目／老年看護学特論、老年看護学演習、老年看護学研究、高齢者ケアサービス論、健康支援科学通論、地域看護学特論、地域看護学演習、地域看護学研究

略歴／昭和54年04月 自衛隊中央病院高等看護学院卒業 平成15年04月 同大学教授
 (同病院にて7年間臨床看護師) 平成16年03月 熊本県立大学大学院修士後期課程
 修了(アドミニストレーション博士)

昭和60年03月 神奈川県立看護教育大学校 看護教育学科卒業(看護教員資格)

昭和60年04月 東京都立広尾看護専門学校専任教員

昭和63年04月 別府大学短期大学部専任講師

平成06年04月 川内看護専門学校専任教員、教育主事(その間佛教大学社会福祉学部学術研究科修士・教育学修士)

平成10年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学助教授

専門分野／老年看護学

主な著書・学術論文
■著書・編著／共著『「看護学入門11-老年看護」メチカルフレンド社2017「ケアリングに基づく看護技術支援」メチカルフレンド社 2013・編著『基本から学ぶ高齢者ケア-第3版-』金芳堂 2011・共著／根拠がわかる在宅看護技術』メチカルフレンド社 2009・共著『病と看護職-生涯教育で何を学ぶか』金芳堂 2005
■学術論文／共著／病院内勤務する男性看護師のジェンダー意識の研究』日本看護福祉学会誌2017・共著／病院内勤務する男性看護師の職業キャリア形成の調査について』第47回日本看護学論文発表集-看護教育-2017・共著／男性看護師の職業的アイデンティティの現状と影響要因 日本看護福祉学会誌vol.17 No.2, 2012・共著／介護保険施設における看護職の配置と実施している医療ケアに関する現状と問題点 日本看護福祉学会誌vol.16 No.1 2011・共著／家庭内高齢者虐待の具体例に対する認識の現状-A地域の医療施設に就業する看護職の場合-高齢者虐待防止研究vol.7 No.1 2011・単著／少子高齢社会における高齢者ケアとジェンダー 熊本県立大学アドミニストレーション研究科修士論文2004

柴田 恵子 教授

大学院担当科目／看護倫理、基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学研究

略歴／昭和58年03月 熊本大学医療技術短期大学部卒業 平成15年03月 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科アドミニストレーション博士専攻修了
 昭和59年03月 熊本大学看護教諭特別科修了
 昭和63年04月 鎌倉学園短期大学看護科勤務 (アドミニストレーション博士)

平成02年03月 佛教大学社会学部社会福祉学科卒業

平成09年03月 熊本大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程修了(法学修士)

平成10年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科勤務

平成22年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻指導教員

平成25年09月 桜美林大学大学院大学アドミニストレーション修士課程修了(大学アドミニストレーション修士)

専門分野／看護の機能と役割、看護基礎教育の教育方法、看護活動における倫理、看護学の基礎について論考し構築することを探求中である

主な著書・学術論文
■著書／『ケアの行方-J.Rawlsの「正義論」を手掛かりに-、自由と正義の法理念-三島淑江教授古希祝賀 文芸堂 平成15年
■学術論文／看護を基礎とする社会形成への展望、熊本県立大学総合管理学会第8巻3-4合併号 p135~p179 平成14年・患者の自律実現と看護、九州看護福祉大学紀要Vol.5 p287~p296 平成15年・看護の本質の実現に向けて-看護基礎教育に焦点をあてて- 九州看護福祉大学紀要Vol.6 p243~p252 平成16年・看護学実習での生命倫理の学び、「生命倫理」通巻21号 p174~p182 平成22年・看護学実習における生命倫理の学びと学習指針の方向性、「生命倫理」通巻23号 p102~p111 平成24年・アプリセプターが新人看護師に教育する生命倫理の内容、九州看護福祉大学紀要 14(1), Vol.14, No.1, p.15~p.25, 平成26年・イギリスにおける看護職の専門職化と大学教育-日本への示唆 -, 桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科 第6号 p.1~p.14 平成28年

山本 恵子 教授

大学院担当科目／老年看護学特論、老年看護学演習、老年看護学研究、健康支援科学通論、他

略歴／平成02年03月 北里大学看護学部看護学科卒業 平成17年10月 同大学助教授
 平成02年04月 北里大学東病院勤務 平成19年03月 広島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士課程後期修了(看護学博士)
 平成07年03月 東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了(社会福祉学修士)

平成07年04月 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科助手(附属病院業務)

平成12年04月 聖隷クリストファー大学看護学部看護学科講師

平成14年11月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科講師

平成19年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学専攻博士課程後期修了(看護学博士)

平成22年04月 同大学教授

平成22年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻指導教員

平成28年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学部長

専門分野／老年看護学、リハビリテーション看護

主な著書・学術論文
■著書・共著／高齢者看護の実践 MCメデイカ出版 2011・共著／リハビリテーション看護 MCメデイカ出版 2011・共著／リハビリテーション看護の実践 日本看護協会出版会 2006・翻訳／高齢者アセスメントマニュアル-Handbook of Geriatric Assessment 3rd Edition-, MCメデイカ出版 2006
■学術論文／山本恵子、宮藤由紀子。看護-介護の協働から生まれる転倒予防の取組み-転倒を繰り返した認知症高齢者を通して- 日本老年看護学会誌 11(2) 2007・山本恵子、宮藤由紀子。職種間協働による転倒予防に関する職員の認識変化(第1報)九州看護福祉大学紀要、PP3-17, 2013; 3。・山本恵子、宮藤由紀子。・職種間協働による転倒予防に関する職員の認識変化とその効果(第2報)九州看護福祉大学紀要; PP19-29, 2013; 3

福本 久美子 教授

大学院担当科目／地域看護学特論、地域看護学演習

略歴／昭和50年03月 自衛隊中央病院高等看護学院卒業 (同病院にて4年間臨床看護師) 平成13年03月 熊本学園大学大学院社会福祉学研究科修了(社会福祉学修士)
 昭和56年03月 熊本県立公衆衛生看護学院卒業 (保健師、助産師資格取得) 平成19年05月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学専攻教授
 昭和56年10月 熊本県勤務(平成19年4月退職) 平成20年03月 熊本大学大学院医学教育部(環境生態学環境保健医学分野)博士課程単位取得満期退学
 平成05年03月 国立公衆衛生院専攻課程卒業 九州看護福祉大学看護福祉学部 平成22年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学専攻指導教員
 平成11年03月 熊本学園大学社会福祉学部II部社会福祉学科卒業 平成22年05月 看護学専攻教授
 日本公衆衛生学会認定専門家

専門分野／地域看護学、公衆衛生看護学

主な著書・学術論文
■著書・共著 蘇陽風(そよかせ)とくらしと健康 熊本毎日出版社 2013
■学術論文・共著 An intervention study to promote self-improvement of lifestyle in a Japanese community(Application of a new health support program). Environmental Health and Preventive Medicine4, 2011; 253-263.・共著/Efficacy of group-based lifestyle interventions on risk factors and insulin resistance in subjects at risk for metabolic syndrome: the TabaruzakaStudy 1,Diabets,obesity and metabolism12. 2010: 790-797・共著/要介護高齢者のための口腔ケアネットワークの構築、日本公衆衛生雑誌, 53(4), 277~284, 2006・共著/健康な地域づくり(ヘルス・プロモーション)の活動効果とその推進要因 熊本学園大学社会関係研究 9(2), 39-68, 2003

樋口 マキエ 特任教授(副学長)

大学院担当科目／看護病態機能学特論、看護病態機能学演習、看護病態機能学研究、健康医科学、看護倫理

略歴／昭和42年03月 熊本大学薬学部卒業 平成15年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻指導教員
 昭和42年04月 熊本大学医学部助手 看護病態機能学 准教授
 昭和51年02月 熊本大学(医学博士) 平成19年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻専攻長
 昭和51年12月 カリフォルニア大学医学部 Research Fellow 平成24年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学学科学長(平成26年3月まで)

昭和54年04月 佐賀医科大学医学部助教授

昭和62年10月 琉球大学医学部医学科助教授

平成11年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学助教授

平成26年04月 九州看護福祉大学看護学専攻特任教授

平成26年05月 九州看護福祉大学副学長

専門分野／薬理学

主な著書・学術論文
■著書・共著/The Ischemic Heart. Underperfusion injury in diabetic rat hearts: Effects of norepinephrine and/or insulin on stiffness increase and abnormal energy metabolism. Kluwer Academic Publishers. P473~500 1998.・共著／心筋の構造と代謝 23巻 六法出版社 2001・共著／コムティカルのための薬理学 朝倉書店 2005(初版) 2012(第2版)
■学術論文／High-energy Phosphate Contents of Subepicardium and Subendocardium in the Rat Treated with Isoproterenol and Some Other Drugs. J Mol Cell Cardiol 6: 123-135, 1974.・Acceleration of Stiffness in Underperfused Diabetic Rat Hearts by Glyburide, a K_{ATP} Channel Blocker, and its Preventions by Levromekalim and Insulin. Cardiovasc Res. 32: 303-314, 1997. ・Effects of epinephrine on underperfusion-reperfusion injuries in diabetic and non-diabetic rat hearts. Mol Cell Biochem 248: 157-163 2003
 ・病理性鎮痛薬使用に関する看護者の認識-WHO方式がん疼痛治療法を基に-九州看護福祉大学紀要 8(1): 59-68, 2006・糖尿膀胱腎臓の低灌流-再灌流障害に対するノルエピネフリンとグリベンクラミドの効果 九州看護福祉大学紀要 16(1): 13-24, 2016

掃本 誠治 教授

大学院担当科目／健康医科学、看護病態機能学特論、看護病態機能学演習、看護病態機能学研究

略歴／平成01年03月 熊本大学医学部卒業 平成25年07月 熊本大学大学院生命科学研究部 看護病態機能学 准教授
 平成01年05月 医師免許取得 熊本大学内科学 准教授
 平成01年05月 熊本大学研修医 平成27年12月 熊本大学先端マダノシム国際研究センター 併任准教授
 平成03年04月 熊本中央病院循環器科 平成29年04月 九州看護福祉大学 教授
 平成08年03月 医学博士(熊本大学大学院医学研究科) 平成29年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学科学科長(平成26年3月まで)
 平成09年04月 熊本中央病院循環器科 平成20年04月 熊本大学心血管治療先端医療寄附講座 講師

専門分野／内科学全般、循環器病学、臨床研究

主な著書・学術論文
■著書／1) 内科学 朝倉書店 2017 共著, 2) 震災と深部静脈血栓症-肺血管性血栓性 日本医師会雑誌 2017年3, 3) 最新新型コロナウイルス感染症の最新治療戦略 日本臨牀 2016 監修・執筆, 4) ST上壁型急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン 日本循環器学会 2013 分担執筆
■学術論文／^{*}責任著者(corresponding author), ^{**}第2著者>1) Akasaka T, Hokimoto S*, et al. The effects of the mean amplitude of glycemic excursions and vascular endothelial dysfunction on cardiovascular events in non-diabetic patients with coronary artery disease. Journal of the American Heart Association 2017 2) Suetla D, Hokimoto S*, et al. Lenvatinib, an oral multi-kinases inhibitor, -associated hypertension: Potential role of vascular endothelial dysfunction. Atherosclerosis 2017 3) Hokimoto S*, et al. Prevalence of coronary macro- and micro-vascular dysfunctions after drug-eluting stent implantation without in-stent restenosis. International Journal of Cardiology 2016 4) Akasaka T, Hokimoto S*, et al. Association of CYP2C19 variants and epipolyoxystrirenic acids on patients with microvascular angina. American Journal of Physiology Heart and Circulatory Physiology 2016 5) Tabata N, Hokimoto S*, et al. Helicobacter pylori seropositivity in patients with interleukin-1 polymorphisms is significantly associated with ST-segment elevation myocardial infarction. PLoS One 2016 6) Mizuno Y, Hokimoto S**, et al. Variant aldehyde dehydrogenase 2 (ALDH2²) is a risk factor for coronary spasm and ST-segment elevation myocardial infarction. Journal of the American Heart Association 2016
■その他／熊本地震シンポジウム2017会長2017年4月

水崎 幸一 教授

大学院担当科目／老年看護学演習

略歴／昭和47年03月 九州大学理学部化学科卒業 昭和63年04月 九州女子大学家政学部 助教授
 昭和52年03月 九州大学大学院理学研究科修士課程化学専攻修了 平成06年04月 九州女子大学家政学部 教授
 平成27年10月 九州看護福祉大学看護福祉学部基礎、教養教育センター 教授

昭和55年03月 九州大学大学院理学研究科博士後期課程化学専攻修了(理学博士) 平成28年04月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻指導教員

昭和55年11月 GLASGOW大学(U.K.)化学科 助手

昭和61年04月 九州女子大学家政学部講師

専門分野／生化学・酵素化学

主な著書・学術論文
■著書 共著／食を中心とした化学 第3版 東京教学社 2008
■学術論文 ・A garlic lectin exerted an anti-tumor activity and induced apoptosis in human tumor cells, Food Res. Internal. 34, 7-13, 2001
 ・An α 2-Macroglobulin-Serine Proteinase Complex From Human Carcinomatous Ascites and Pleural Effusion : Isolation, Monoclonal Antibody Preparation, and Immunohistochemical Study, Oncology Research, 10, 499-507, 1999
 ・The Nucleotide Sequence of a cDNA Clone Encoding Ribosomal Protein S17 of Ehrlich Ascites Carcinoma Cells, Biochemical Genomics, 32, 408-414, 1994
 ・Differentiation Among the Four Diastereomers of Benzoyloxycarbonyl-protected γ-Hydroxyornithine in Negative-ion Fast Atom Bombardment Mass Spectrometry, Organic Mass Spectrometry, 29, 260-265, 1994

宮里 邦子 特任教授

大学院担当科目／成育看護学特論、成育看護学演習、成育看護学研究

略歴／昭和44年03月 熊本大学医学部附属看護学校卒業 平成16年04月 熊本大学医学部保健学科教授及び熊本大学大学院生命科学学専攻教授
 昭和45年03月 熊本大学医学部附属助産学校卒業 熊本大学大学院生命科学研究科保健学専攻博士課程後期単位取得満期退学
 昭和45年04月 熊本逓信病院産婦人科病棟勤務 (平成3年4月退職) 平成21年03月 広島大学大学院保健学研究科博士課程後期単位取得満期退学

平成08年03月 熊本県立大学生活科学部卒業

平成10年03月 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程前期修了(看護学修士)

平成10年04月 広島大学医学部保健学科助教授

平成12年04月 広島大学医学部保健学科講師

平成14年04月 広島大学医学部保健学科助教授

平成26年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学部長(平成28年3月まで)

平成28年04月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学専攻 特任教授

専門分野／小児看護学、助産学

主な著書・学術論文
■著書・共著／児童青年期精神看護学 セルフケアへの支援, “第3巻 発達障害に対する児童精神看護学 2.知覚的障害のある児童への看護、4.注意欠如・多動性障害のある児童への看護 医歯薬出版株式会社 2012
■学術論文／共著／「小児科病棟実習における学生の学習経験の検討」広島大学保健学ジャーナル 1(1), 35-41, 2011 共著／障害児とともに歩む「きょうだい」の思いとその看護ケア」小児看護 25(4), 478-483, 2002 共著／「地域における小児慢性疾患の市民グループが認識する実質的活動」横浜看護学雑誌 1(1), 26-34, 2008 共著／「在宅人工呼吸療法中の小児への夜間滞在型訪問看護が看護職に与えた影響(その1)看護職の不安-ストレスや支援」訪問看護と介護 14(2), 124-130, 2009 共著／「在宅人工呼吸療法中の小児への夜間滞在型訪問看護が看護職に与えた影響(その2)看護職の訪問後の効果の実態と変化」訪問看護と介護 14(2), 131-135, 2009 共著／「在宅人工呼吸療法の小児-家族へのホームレスバイケアの可能性-小児の訪問看護の実態と長期間訪問看護の課題-」熊本大学医学部保健学科紀要 6, 11-22, 2010 共著／「Decreased cardiac parasympathetic nerve activity of pregnant women during labor」JAPAN JOURNAL OF NURSING SCIENCE 7(1), 65-75, 2010 共著／「在宅人工呼吸療法の小児への夜間滞在型訪問看護が母親に与えた影響-ホームレスバイケアの取り組みの中で-」日本小児看護学会誌 20(1), 40-47, 2011

Allan J. Sutherland 准教授

大学院担当科目／地域看護学特論、地域看護学演習

略歴／1983年07月 The University of Glasgow graduate MA SocSci 1993年10月 The University of Edinburgh, Graduate School PhD
 1983年09月 Volunteer Centre Youth Education Manager 1994年04月 University of Tsukuba, P-T lecturer
 1984年01月 Clydebank College Lecturer
 1989年09月 Bernard English School Teacher, manager
 1989年10月 The University of Edinburgh & The Open University Tutor

専門分野 /Sociology, social stratification; social theory; philosophy of science; social distance theory; social network theory; modeling group improvisation; social identities, sexualities;sociology of work; sociology of health and illness;social capital; sociology of the arts; reflexivity; economic sociology, sociology of consumption, cultural consumption.

主な著書・学術論文
■著書 /Bourdieuian Theories of Cultural Consumption and the Occupationally Stratified Social Relations of International Improvising Musicians, Annual Conference British Sociological Association, University of Glasgow 2010; Improvising Solutions: a) Theoring and Modelling Improvising Social Groups, Instant Composers, and b) Modelling and Theorising the Improvising Ensemble, presented at 11th Biannual Conference of the European Sociological Association, Torino, Italy 2013; a) Variations on a Theme: Gender and the Career Trajectories and Social Network Relations of International Jazz and Improvising Musicians, and b) Social Stratification and the Local and Global Networks of Relations Connecting Improvising Musicians; presented at 12th Biannual Conference of the European Sociological Association, Torino, Italy, 2013; Dissonant Harmonies: Modelling and Conceptualising Improvising Social Groups, RIMCIS, International and Multidisciplinary Journal of Science, 2014, 3/3; a) Modernist and Postmodernist Critical Analysis of Modern Jazz and Post-positivist Criteria for Explanatory Coherence, and b) Embodied and Embedded Improvisation: The Life Trajectories and Social Contexts Facilitating Improvisation and Innovation, International Sociological Association Conference, Yokohama 2015; Globalisation, and the Changing Patterns of Mortality and Morbidity Associated with Social Inequality: Social Interaction Network Cultures, Japan Society for Nursing Research,Hiroshima, 2015; Charlie Parker: Perfection of Imperfections in Ensemble Improvised Music Making, (Im)perfectionist Aesthetics, Conference, University of Tokyo,2017.

